



「修学旅行で学んだこと」

6年 飯田真衣さん

私は、修学旅行で友達と協力することの大切さと、自分の仕事に責任を持つことの重要性を学びました。

ホテルで荷物を整理したり、使ったふとんを片づけたりするときなど、一人で進めるのが難しいときに、友達が「大丈夫？」と言って手伝ってくれる場面が多々ありました。逆に私が何か手伝うと、「ありがとう」と笑顔で言ってくれました。そのとき私はとても心が温まり、友達と協力し合うことは、お互いが温かい気持ちになれる大切なことなんだなと思いました。

また、修学旅行ではそれぞれ係があり、その役目によって行動します。私は保健係で、決まった時間に同じ班の人たちの健康チェックカードを集めて、担任の先生にわたします。今年はコロナウイルスのこともあり、みんなの体調を管理することは、とても大切なことでした。私は、「みんなが元気に修学旅行を楽しめたらいいな」という思いで、係の仕事をしました。保健係の

仕事は、一見簡単そうに見えて、短い時間の中で熱を測って健康チェックカードを持っていくので意外と大変でした。けれど、やりきることができたのでよかったなと思いました。そこで、自分の仕事に責任を持つことの重要性が分かりました。

修学旅行で学んだ二つのことを生かして、残りの学校生活をすごし、中学校でもがんばっていきなりたいです。

4年 梶田乃彩さん

「へんてこ山のこびとたち」



へんてこ山にすんでいる人達をイメージして作りました。いろいろな色で色をぬって楽しそうに見せました。へんてこ山のまわりに木のかんらん車やジェットコースターなどをかいてテーマパークみたいになりました。



市長コラム
「価値ある未来を、共に」



問合せ

政策室

☎982-5112 FAX981-5392

出初式

▼昨年はコロナ禍により中止とした、少年消防クラブ、消防団、消防職員による「出初式」を、今年初めて吉川美南駅前にて開催。多くの市民の皆さんに観覧いただき、それぞれの活動内容をお伝えすることができました。



少年消防クラブ訓練展示

▼吉川市の「少年消防クラブ」はクラブ員数も多く、防火・減災活動を学び、その成果の発表の場である全国大会

においても上位入賞を果たす活躍を見せています。そうした中で、小学生の頃から活動を重ねてきたクラブ員1人が、消防の採用試験に合格し、この春から我がまちの消防隊員となる予定です。素晴らしいことであり、とてもうれしく思います。



消防団による一斉放水

市民で構成されており、仕事や家庭を持つ中、昼夜を問わず消防活動に駆け付けてくださいます。

す。また地域のさまざまな事業やイベントにも力を尽くしてくださり、「自分達の地域は、自分達で守り支える」と、まさに住民自治を担う市民の範です。

▼吉川松伏消防組合の「消防職員」は、昨年も命をかけた消火活動、そしてコロナ禍においてもひるまない救急・救助活動により、多くの吉川市民の命を守ってくれました。

吉川市の安全安心の「守護神」である消防職員。我がまちの誇りです。

▼市としても、危機管理課を先頭に、公的機関や民間企業との連携をさらに深める中で、インフラ整備、災害対策体制の構築を日々前進させてゆきます。2022年も、少年消防クラブ、消防団、消防職員、行政、そして市民の力を合わせ、火災や災害から吉川市を守ってゆきたいと思えます。

皆さん、よろしくお願います。



開会の様子



消防職員の救出救助訓練